

障害者福祉システム等標準化検討会（第3回）

令和4年3月17日 【資料3】

# 障害者福祉システム等標準化検討会 （第3回）

## 検討・課題事項の対応概要について

令和4年3月17日

事務局提出資料

# 1. 検討課題事項(全体)

- 令和3年度上期全国照会の 1,865件の意見に対して、継続検討事項は 26件となる。
- 令和3年度下期全国照会(帳票要件)の 2,066件の意見に対して、継続検討事項は 122件となる。
- 令和3年度下期全国照会(機能要件等)の 1,437件の意見に対して、継続検討事項は 217件となる。
- 検討・課題一覧(検討会・WT・ベンダ分科会での意見)の 259件に対して、継続検討事項は 43件となる。
- 全体として、令和3年度の意見及び検討課題事項の総数 5,627件に対して、令和4年度へ引き継ぐ検討課題事項は 408件となる。

		意見数	対応完了数	令和4年度 継続検討数	対応割合	継続検討割合
令和3年度上期 全国照会	上期検討分	1,865	926	939	98.6%	1.4%
	下期検討分	939	913	26		
令和3年度下期全国照会 (帳票要件)		2,066	1,944	122	94.1%	5.9%
令和3年度下期全国照会 (機能要件等)		1,437	1,220	217	84.9%	15.1%
検討・課題一覧		259	216	43	83.4%	16.6%
合計		5,627	5,219	408	92.7%	7.3%

## 2. 検討課題事項①(令和3年度上期全国照会の下期検討分)

- 令和3年度上期全国照会の意見のうち、令和4年度への継続検討事項(26件)は、以下のとおりである。
- 機能要件・帳票要件に関する継続検討事項は22件あり、例えばAI-OCRやRPAの利用等、検討に時間を要するものについて継続検討事項としている。
- データ要件・連携要件に関する継続検討事項は4件あり、全て、他システムへのデータ提供に関するものであったため、第2グループにおける検討内容を踏まえて検討することとしている。

継続検討事項の要件分類	障害者福祉 共通	手帳関連	手当関連	障害福祉 サービス関連	自立支援 医療関連	合計	
機能・帳票要件	3	0	0	13	6	22	84.6%
データ・連携要件	0	0	3	0	1	4	15.4%
その他	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	3	0	3	13	7	26	100%

## 2. 検討課題事項②(令和3年度下期全国照会(帳票要件)の継続検討事項)

- 令和3年度下期全国照会(帳票要件)の意見のうち、令和4年度への継続検討事項(122件)は、以下のとおりである。
- 機能要件・帳票要件に関する継続検討事項は115件あり、WTやベンダ分科会での検討を要するものであった。  
例)生年月日の表記を日本人と外国人で合わせるべきとの多数の意見
- その他に関する継続検討事項は7件あり、全て、標準化の範囲外としている日常生活用具等独自事業についても対象に含めてほしいとの意見であった。独自事業を標準化の対象とするかは、今後検討する予定としている。

対応方針	障害者福祉 共通	手帳関連	手当関連	障害福祉 サービス関連	自立支援 医療関連	合計	
機能・帳票要件	11	7	9	55	33	115	94.3%
データ・連携要件	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	2	5	0	0	0	7	5.7%
<b>合計</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>9</b>	<b>55</b>	<b>33</b>	<b>122</b>	<b>100%</b>

### 3. 検討課題事項③(令和3年度下期全国照会(機能要件等)の継続検討事項)

- 令和3年度下期全国照会(機能要件等)の意見のうち、令和4年度への継続検討事項(217件)は、以下のとおりである。
- 機能要件・帳票要件に関する継続検討事項は199件あり、WTやベンダ分科会での検討を要するものであった。  
 例1) HIV情報は機微情報であるため、参照可能な担当者を制御する機能が必要であるとの意見  
 例2) 都道府県、指定都市が指定している医療機関の一括取込み機能を追加してほしいとの意見
- データ要件・連携要件に関する継続検討事項は12件あり、主にデータ要件で定められる内容であった。  
 例1) 備考欄については400字程度は管理できることという意見  
 例2) 「病院・診療所種別」に“その他”を追加してほしいという意見
- その他に関する継続検討事項は6件あり、更なる検討を要するものであった。  
 例1) 標準化の範囲外としている日常生活用具等独自事業についても対象に含めてほしいとの意見  
 例2) 特別児童扶養手当及び育成医療業務は障害者福祉システム以外で調達する場合の意見(障害者福祉共通の切り出しの考え方や他業務と競合する部分の扱い等)

対応方針	障害者福祉 共通	手帳関連	手当関連	障害福祉 サービス関連	自立支援 医療関連	合計	
機能・帳票要件	46	22	3	94	34	199	91.7%
データ・連携要件	2	4	0	2	4	12	5.5%
その他	4	2	0	0	0	6	2.8%
<b>合計</b>	<b>52</b>	<b>28</b>	<b>3</b>	<b>96</b>	<b>38</b>	<b>217</b>	<b>100%</b>

## 5. 検討課題事項④(検討・課題一覧)

○ R4年度上期に検討し、令和4年夏頃までに対応が見込める課題は33件である。

例1) 公的給付支給等口座の管理

例2) 続柄や添付書類等の管理項目のコード内容の明示(データ要件で明示)

例3) 国保や後期、生保、介護との連携項目の明示(連携要件で明示)

○ 検討に時間を要する課題は10件である。

例1) 自立支援医療における国保連合会との国保と後期のファイルレイアウト統一

例2) 3手帳、精神通院医療の都道府県との進達情報・判定結果情報のファイルでのやり取り

継続検討事項の要件分類	障害者福祉 共通	手帳関連	手当関連	障害福祉 サービス関連	自立支援 医療関連	合計	
機能・帳票要件	2	3	0	7	5	17	84.6%
データ・連携要件	8	5	2	1	4	20	15.4%
その他	6	0	0	0	0	6	0.0%
<b>合計</b>	<b>16</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>43</b>	<b>100%</b>